



上場会社名 株式会社 デサント 上場取引所 東
コード番号 8114 URL <http://www.descente.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小関 秀一
問合せ先責任者(役職名) 専務執行役員 (氏名) 土橋 晃 (TEL) 03-5979-6110
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年3月期第1四半期	27,162	2.8	1,951	△22.9	4,490	34.3	3,191	35.6
2023年3月期第1四半期	26,425	17.5	2,531	145.3	3,342	114.0	2,353	107.6

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 3,140百万円(△36.1%) 2023年3月期第1四半期 4,910百万円(65.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	42.28	—
2023年3月期第1四半期	31.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2024年3月期第1四半期	129,126	100,419	77.2
2023年3月期	133,562	100,300	74.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 99,740百万円 2023年3月期 99,637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	44.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	127,000	5.3	8,500	9.1	13,000	11.4	11,000	4.3	145.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料の8ページ、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	76,924,176株	2023年3月期	76,924,176株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,420,114株	2023年3月期	1,420,092株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	75,504,073株	2023年3月期1Q	75,479,543株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間では各国で行動制限が緩和し社会経済活動が正常化されたことにより、スポーツアパレル業界は回復傾向にあります。日本ではインバウンド需要が戻りつつあり、中国では2023年1月にゼロコロナ政策が撤廃されたことに伴う活発な消費活動が見られました。前年度よりARENA (SHANGHAI) INDUSTRIAL CO., LTD. (以下、ASH) とLE COQ SPORTIF (NINGBO) CO., LTD. (以下、NLCS) を連結子会社化し、連結業績に取り込んでいます。

売上高は、中国では連結子会社化による増収、日本と韓国ではアスレチックカテゴリーが増収となり、レジャー需要の分散化に伴う前年同四半期に見られたゴルフブームの鈍化、および2022年12月末にライセンス契約を終了した『マーモット』の減収影響はあるものの、当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期比2.8%増の27,162百万円となりました。

売上総利益は、上記2社の連結子会社化の影響のほか、プロパー消化率の改善による韓国セグメントにおける粗利率改善の影響もあり、前年同四半期比5.9%増の16,512百万円となりました。

販管費は、ブランディングに伴う費用の増加および連結子会社化の影響により、前年同四半期比11.5%増の14,561百万円となりました。

営業利益は、上記に加え、前年同四半期に日本で計上した返品等の改善に伴う返金負債取崩益等の一過性の利益約470百万円が無くなったことにより、前年同四半期比22.9%減の1,951百万円となりました。

持分法適用関連会社であるDESCENTE CHINA HOLDING LTD. (以下、DCH) 及びARENA KOREA LTD. (以下、AK) の業績伸長により持分法による投資利益が前年同四半期比301.8%増の2,271百万円と大幅に増加したことにより、経常利益は前年同四半期比34.3%増の4,490百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、NLCSの特別損失として前年度に引き続き、事業構造改善費用181百万円を計上しましたが、経常利益の増加により、前年同四半期比35.6%増の3,191百万円となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。なお、在外子会社の決算期は12月であり、各セグメントの業績には持分法適用関連会社の数値は含まれておりません。

(セグメント別売上高)

セグメントの名称	売上高(百万円) (前年同四半期比)	セグメント利益又は損失(百万円) (前年同四半期比)
日本	11,079 (91.6%)	714 (51.9%)
韓国	12,274 (96.6%)	1,115 (91.1%)
中国	3,209 (301.1%)	101 (81.6%)
調整額	599 (108.3%)	19 (前年同四半期△194百万円)
合計	27,162 (102.8%)	1,951 (77.1%)

※ セグメント利益又は損失は、当社グループにおける営業利益又は損失であります。

(日本)

直営店舗におけるアジア観光客を中心とした海外観光客のインバウンド売上が好調なことに加え、子供向け商材にフォーカスした『アンブロ』が伸長しておりますが、『マーモット』の2022年12月ライセンス契約終了の影響及び想定していたゴルフブームの鈍化に伴い、セグメント売上高は前年同四半期比8.4%減の11,079百万円となりました。また、販管費において今後のブランディングのための費用増加および前年同四半期にあった一過性の利益押し上げ要因の剥落もあり、セグメント利益は前年同四半期比48.1%減の714百万円となりました。

(韓国)

若年層向けの商材が好調の『アンブロ』が引き続き伸長していますが、前年同四半期のゴルフブームの反動によるゴルフウェアカテゴリーの減収によりセグメント売上高は前年同四半期比3.4%減の12,274百万円となりました。セグメント利益は『デサント』をはじめとするアスレチックウェアカテゴリーのプロパー消化が促進されたことにより粗利率は向上したものの、減収により前年同四半期比8.9%減の1,115百万円となりました。なお、セグメント損益には含まれませんが、持分法適用関連会社であるAKは海外旅行客増に伴うレジャー水着需要の影響もあり、業績が伸長しています。

(中国)

前年同四半期では新型コロナウイルス感染症に伴う厳しい行動規制があった中国では、2023年1月のリオープニングを受け活発な消費活動が見られました。特に香港において中国本土からの移動が自由化されたことが後押しし、

HONG KONG DESCENTE TRADING, LTD.の業績が好調です。また、ASHとNLCSの連結子会社化による増収効果もあり、セグメント売上高は前年同四半期比201.1%増の3,209百万円となりました。一方で、セグメント利益につきましてはNLCSに係るのれんの償却費等を計上したことで、前年同四半期比18.4%減の101百万円となりました。なお、セグメント損益には含まれませんが、『デサント』を展開する持分法適用関連会社のDCHは引き続き好調です。

品目別売上高の状況は次の通りであります。

(品目別売上高)

区 分	金 額	構 成 比	前年同四半期比
アスレチックウェア及びその関連商品	19,194	70.7	117.3
ゴルフウェア及びその関連商品	6,779	25.0	82.8
その他	588	2.2	44.4
調整額	599	2.2	108.3
合 計	27,162	100.0	102.8

(アスレチックウェア及びその関連商品)

『アンブロ』が日本・韓国における現地マーケティング戦略によって伸長しており、日本では子供向け商材を打ち出し、韓国では若年層をターゲットとしたコラボレーションが引き続き好調です。『デサント』の売上も堅調、『ルコックスポルティフ』は日本において素材にこだわった高付加価値のTシャツが堅調に推移しております。全体としてアスレチックカテゴリーの売上高は前年同四半期比17.3%増の19,194百万円となりました。

(ゴルフウェア及びその関連商品)

日本と韓国において見られたゴルフブームはレジャー需要の分散化により落ち着きを見せています。国内自社工場にて開発・生産している『マンシングウェア』の「10 YEARS POLO SHIRTS」が日本・中国で好調、韓国においては『デサント』のゴルフシューズがトッププレイヤーからの評価が高く、引き続き好調です。しかしながら、昨年度のゴルフブームの反動減もあり、ゴルフカテゴリーの売上高は前年同四半期比17.2%減の6,779百万円となりました。

(サステナビリティに関する取り組み)

当社はサステナビリティの一環として、日本において、『アンブロ』でヘディングの際に子供たちの頭部の衝撃を緩和し、脳震盪の危険を低減させるための「プロテクトヘッドバンド」(特許申請中)の発売を開始しました。関東を中心に子供向けのサッカー教室を展開する「JACPA東京FC」に同商品を提供し、その取り組みがテレビ等メディアでも取り上げられています。このように、安心してスポーツができる商品の開発等によるスポーツ普及活動を続けてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は129,126百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,436百万円減少しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ6,831百万円減少し、75,673百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少9,877百万円、商品及び製品の増加2,000百万円などによるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ2,395百万円増加し、53,452百万円となりました。これは主に投資その他の資産に含まれる投資有価証券の増加3,300百万円などによるものです。

負債合計は前連結会計年度末に比べ4,556百万円減少し、28,706百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少2,301百万円、賞与引当金の減少861百万円などによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ119百万円増加し、100,419百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定の減少443百万円、その他有価証券評価差額金の増加499百万円、利益剰余金の増加171百万円などによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.6%増の77.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2023年5月15日の決算短信で公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,412	31,535
受取手形及び売掛金	15,698	16,207
商品及び製品	20,657	22,658
仕掛品	387	700
原材料及び貯蔵品	536	419
その他	3,875	4,212
貸倒引当金	△62	△60
流動資産合計	82,505	75,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,178	9,149
その他	14,929	14,429
有形固定資産合計	24,107	23,579
無形固定資産		
のれん	3,516	3,500
その他	1,491	1,495
無形固定資産合計	5,008	4,995
投資その他の資産		
投資有価証券	18,218	21,518
退職給付に係る資産	487	383
その他	3,280	3,020
貸倒引当金	△44	△44
投資その他の資産合計	21,941	24,878
固定資産合計	51,057	53,452
資産合計	133,562	129,126
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,592	9,291
短期借入金	551	252
未払法人税等	1,428	598
賞与引当金	1,283	422
その他	11,088	10,464
流動負債合計	25,944	21,028
固定負債		
その他	7,318	7,678
固定負債合計	7,318	7,678
負債合計	33,262	28,706

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,846	3,846
資本剰余金	25,436	25,436
利益剰余金	62,257	62,429
自己株式	△606	△606
株主資本合計	90,933	91,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	609	1,109
繰延ヘッジ損益	△3	△90
為替換算調整勘定	7,397	6,954
退職給付に係る調整累計額	699	662
その他の包括利益累計額合計	8,703	8,635
非支配株主持分	662	679
純資産合計	100,300	100,419
負債純資産合計	133,562	129,126

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	26,425	27,162
売上原価	10,837	10,649
売上総利益	15,588	16,512
販売費及び一般管理費	13,056	14,561
営業利益	2,531	1,951
営業外収益		
受取利息	96	172
受取配当金	3	4
持分法による投資利益	565	2,271
為替差益	140	88
その他	26	90
営業外収益合計	831	2,627
営業外費用		
支払利息	10	33
固定資産除却損	9	46
その他	0	8
営業外費用合計	20	88
経常利益	3,342	4,490
特別利益		
段階取得に係る差益	92	—
負ののれん発生益	35	—
特別利益合計	127	—
特別損失		
事業構造改善費用	—	181
特別損失合計	—	181
税金等調整前四半期純利益	3,469	4,308
法人税、住民税及び事業税	140	256
法人税等調整額	975	858
法人税等合計	1,116	1,114
四半期純利益	2,353	3,193
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,353	3,191

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,353	3,193
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43	499
繰延ヘッジ損益	△129	△86
為替換算調整勘定	1,864	△798
退職給付に係る調整額	△21	△37
持分法適用会社に対する持分相当額	885	369
その他の包括利益合計	2,557	△53
四半期包括利益	4,910	3,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,910	3,123
非支配株主に係る四半期包括利益	—	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の連結子会社について、税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該連結子会社の法人税等は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1, 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,096	12,710	1,065	25,872	553	26,425
セグメント間の内部売上高 又は振替高	689	169	12	871	△871	—
計	12,785	12,879	1,078	26,743	△318	26,425
セグメント利益	1,376	1,225	124	2,726	△194	2,531
その他の項目						
持分法による投資損益	—	△9	683	674	△108	565
持分法適用会社への投資額	—	4	15,407	15,412	—	15,412

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額は、純粋持株会社である当社で計上したものであります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去、棚卸資産の未実現利益の調整額、及び各報告セグメントに配分していない当社の損益であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1, 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,079	12,274	3,209	26,562	599	27,162
セグメント間の内部売上高 又は振替高	599	228	76	905	△905	—
計	11,678	12,503	3,286	27,468	△305	27,162
セグメント利益	714	1,115	101	1,932	19	1,951
その他の項目						
持分法による投資利益	—	143	2,128	2,271	—	2,271
持分法適用会社への投資額	—	425	18,553	18,978	—	18,978

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額は、純粋持株会社である当社で計上したものであります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去、棚卸資産の未実現利益の調整額、及び各報告セグメントに配分していない当社の損益であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

(単位：百万円、%)

	韓国	中国	その他	計
I 海外売上高	12,154	2,101	224	14,480
II 連結売上高				26,425
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	46.0	8.0	0.9	54.8

当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

(単位：百万円、%)

	韓国	中国	その他	計
I 海外売上高	11,784	4,522	359	16,666
II 連結売上高				27,162
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	43.4	16.7	1.3	61.4

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。